

平成24年度目録システム講習会(雑誌コース)修得テスト問題 色付セルが正解です。

問題	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
問題1	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 1.図書そのものに関する情報を記した【(1)】情報と、それがどこにあるかを記した【(2)】情報からなるものを、「目録所在情報」という。 2.目録所在情報サービスは、総合目録データベースを形成するためのNACSIS-【(3)】と、相互貸借業務を支援するためのNACSIS-【(4)】とで構成される。	(1)所蔵 (2)書誌 (3)ILL (4)CAT	(1)書誌 (2)所蔵 (3)CAT (4)ILL	(1)目次 (2)所蔵 (3)CAT (4)REO		目録所在情報サービス及び各サービス(NACSIS-CAT,NACSIS-ILL)についての総合問題です。それぞれの意義と概要を正しく理解しましょう。
問題2	NACSIS-CATに関する次の文章のうち、【間違っているもの】はどれか。	共同分担入力方式では、所蔵情報を共有し、全体としての目録作成作業を省力化することができる。	NACSIS-CATでは、豊富な参照ファイルが用意されており、それらを参照・流用して書誌データの作成が可能である。	多言語対応により、中国語、韓国・朝鮮語、アラビア文字資料等のデータも登録が可能になっている。		目録システム(NACSIS-CAT)の概要についての確認問題です。NACSIS-CATの特徴や品質管理のための注意点等、よく理解しましょう。
問題3	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 1.総合目録データベースでは、各データを書誌情報・所蔵情報などの種類別に分けて記録しているが、このデータの単位を【(1)】と呼び、【(2)】と呼ばれるいれものに納められている。 2.参照ファイルには、【(3)】作成のJAPAN/MARC、【(4)】作成のUSMARC等がある。	(1)レコード (2)ファイル (3)国立国会図書館 (4)アメリカ議会図書館	(1)ファイル (2)レコード (3)国立国会図書館 (4)図書館流通センター	(1)レコード (2)ファイル (3)アメリカ議会図書館 (4)国立国会図書館		総合目録データベースのファイル構成に関する確認問題です。NACSIS-CATで間違った運用を行わないためにも、ファイルの種類と特徴を正しく理解しましょう。
問題4	次のレコードの組み合わせのうち、【リンク関係がないもの】を1つ選びなさい。	雑誌書誌レコードと雑誌所蔵レコード	雑誌書誌レコードとタイトル変遷レコード	雑誌書誌レコードと統一書名典拠レコード		雑誌業務に関係したレコード間リンクの確認問題です。問題以外にも、いろいろなレコードの組み合わせについて、リンク関係の有無を確認してみましょう。
問題5	NACSIS-CATの検索について述べた次の文章のうち、【間違っているもの】はどれか。	NACSIS-CATにおける正規化処理では、「国」「國」などの「漢字の旧字体・新字体の違い」を統一していないので、検索するときは注意しなければならない。	NACSIS-CATにおける正規化処理により、「ワーグナー」を検索したい場合に、検索フィールドに「わーぐなー」と入れても「ワグナ」と入れても同じ検索結果になる。	NACSIS-CATでは、書誌レコードから作成した検索用インデックスをもとに検索を行う「インデックス検索」を採用している。		目録検索に関する総合問題です。NACSIS-CATでは、独自の検索システムを採用しているため、正しく検索するためには、システムの特徴を理解することが重要です。検索の仕組み・注意点等を十分に確認しましょう。
問題6	次の文章の空欄に当てはまる正しい組み合わせはどれか。 1.【(1)】は、全ての参加館で利用するレコードで、その修正・削除にはルールが定められている。 2.【(2)】は、各参加館の判断で、登録・修正・削除ができる。	(1)共有レコード (2)共有レコード	(1)共有レコード (2)固有レコード	(1)固有レコード (2)共有レコード	(1)固有レコード (2)固有レコード	共有レコードと固有のレコードについての確認問題です。同じ「レコード」でも、どちらに属するかによって、運用ルールが異なります。それぞれの特徴をしっかりと理解しましょう。

問題	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
問題7	<p>次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>1.「終期を予定せず逐次的に刊行され、かつ個々の資料を識別・順序づける番号がある資料」を【(1)】と定義し、それ以外を【(2)】と定義する。 2.和資料・洋資料で準拠する目録規則が異なるが、この場合の和資料とは、【(3)】であり、洋資料とは【(4)】のことである。</p>	<p>(1)図書 (2)雑誌 (3)アジア言語資料 (4)欧米言語資料</p>	<p>(1)雑誌 (2)図書 (3)日本語、中国語資料 (4)英語資料</p>	<p>(1)雑誌 (2)図書 (3)日本語、中国語、韓国・朝鮮語資料 (4)それ以外</p>		<p>図書・雑誌の判断基準及び、準拠する目録規則についての確認問題です。 書誌レコードを作成する上での基本中の基本となる部分ですので、暗記するまで復習しましょう。</p>
問題8	<p>次のケースのうち、【別書誌レコードとならないもの】を1つ選びなさい。</p>	<p>同じ大学の紀要の人文科学編と人文・社会科学編</p>	<p>冊子の雑誌とそのCD-ROM版</p>	<p>刊行途中で巻号付けの方法が変わったもの</p>		<p>雑誌の書誌作成単位に関する問題です。「雑誌全体で1書誌レコードを作成する」という原則と、別書誌レコードを作成するいくつかのケースと、それぞれをよく確認しましょう。</p>
問題9	<p>書誌記述を行う際の「基準とする号」についての文章がある。空欄に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>1.原則は、【(1)】に基づいて書誌レコードの記述を行う。 2.【(2)】がない場合は、【(3)】に基づいて記述を行う。 3.【(4)】以外の号に基づいて書誌レコードを作成した場合は、その記述が何号によったか(記述の根拠号)を必ず注記する。</p>	<p>(1)初号 (2)初号 (3)所蔵最古号 (4)所蔵最古号</p>	<p>(1)初号 (2)初号 (3)所蔵最古号 (4)初号</p>	<p>(1)所蔵最古号 (2)所蔵最古号 (3)初号 (4)初号</p>	<p>(1)所蔵最古号 (2)所蔵最古号 (3)初号 (4)所蔵最古号</p>	<p>雑誌書誌レコード作成における「基準とする号」に関する問題です。初号主義、情報源の優先順位等、いずれも重要です。確実に理解しましょう。</p>
問題10	<p>次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>タイトル変遷レコードは【(1)】が作成・管理しているが、【(2)】は所蔵していないので、【(3)】や標題紙等、変遷の内容が的確にわかるような【(4)】を送る必要がある。</p>	<p>(1)NII (2)資料そのもの (3)変遷直前・直後の号の表紙 (4)情報源のコピー</p>	<p>(1)書誌作成館 (2)初号 (3)表紙 (4)複製資料</p>	<p>(1)書誌作成館 (2)最新号 (3)初号の奥付 (4)情報源のコピー</p>		<p>雑誌書誌レコードの作成・修正・変遷のNIIへの報告義務についての確認問題です。図書とは異なりますので覚えておきましょう。</p>
問題11	<p>典拠レコード及び所蔵レコードに関する次の文章のうち、【間違っているもの】はどれか。</p>	<p>著者名典拠レコードは、原則として1著者・団体に対して1つだけ作成し、その著者・団体の名称に別の形がある場合は、「SFフィールド」に記述する。</p>	<p>著者名典拠レコードの団体名の標目は、内部組織を含めず代表名のみで作成する。例えば、「日本図書館協会目録委員会」とがあった場合、著者名典拠レコードを作成する場合の標目はどちらも「日本図書館協会」となる。</p>	<p>雑誌所蔵レコードは、目録対象資料上の表示に関わらず、巻レベル・号レベルの2階層で表現する。</p>		<p>典拠レコード及び所蔵レコードに関する総合問題です。それぞれのレコードの特徴と注意点を、よく理解しておきましょう。</p>

問題	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
問題 12	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 検索もれによって起こりえる問題点として、【(1)】が作成されたり、間違った書誌に【(2)】登録をしてしまうことがあげられる。 検索の種類には、ファイル検索と、【(3)】参照がある。	(1)重複書誌 (2)典拠 (3)リンク	(1)重複書誌 (2)所蔵 (3)リンク	(1)参照ファイル (2)所蔵 (3)相互		検索の目的と概要についての確認問題です。
問題 13	「日本食品科学工学会誌」を検索する時、検索キーとして【間違っているもの】はどれか。	食品科学	しょくひん かがく	日本食品科学工学会誌		雑誌のファイル検索とリンク参照についての確認問題です。
問題 14	雑誌書誌レコードを同定する際の判断として、【間違っているもの】はどれか。	冊子体と別にCD-ROM版が発行されている場合は、別の書誌レコードとなる。	公文書版、市販本版のように並行して別の出版者から発行されているものは、別の書誌レコードとなる。	雑誌の複製版とその原本は、同一の書誌レコードとなる。		雑誌の同定に関する確認問題です。
問題 15	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 検索用インデクスは、【(1)】やヨミの単位で分けて作成される。 検索用インデクスと同じルールで【(2)】も正規化処理されるので、ローマ字は大文字でも小文字でもよい。 欧米諸語の前置詞、冠詞等は【(3)】といい、検索用インデクスから除外される。	(1)文節 (2)漢字統合インデクス (3)ストップワード	(1)記号 (2)検索キー (3)ストップワード	(1)記号 (2)検索キー (3)デリミタ		検索用インデクス生成と検索キーの照合についての確認問題です。
問題 16	検索上の注意についての文章で、【間違っているもの】はどれか。	ISBNやISSNで検索して見つからない場合は、別の検索キーで検索し直す。	「子供たち」はヨミで検索する場合、検索もれを防ぐために「コドモ*」で検索するとよい。	「超LSI」をヨミで検索する場合、「チョウLSI」ではなく、「チョウ エル エス アイ」と入力する。		検索上の注意点についての確認問題です。
問題 17	「21世紀猫ジャーナル / 日本CAT学会編」という資料を検索する場合、有効な検索方法はどれか。(△は半角スペース1個を表す)	著者名検索フィールドに「ニホン△キヤット△ガツカイ」と入力し、検索する。	著者名検索フィールドに「日本CAT学会*」と入力し、検索する	著者名検索フィールドに「日本猫学会」と入力し検索する。		検索上の注意点(特にヨミ・分かち書きによって切り出された有効な検索キーについて)の確認問題です。検索では検索用インデクスを想像して検索キーを選ぶことが重要です。
問題 18	登録に関する文章のうち、【間違っているもの】はどれか。	求める書誌レコードが総合目録データベースにあり、「初号による修正」、「初号以外の号による注記の追加等」「明らかな誤り(転記ミス)等を修正」「書誌を充実させるための修正」が必要な場合には、書誌を修正した上で、所蔵登録を行う。	求める書誌レコードが総合目録データベースになく、版違いや資料種別の異なる類似書誌レコードにヒットした場合には、その書誌レコードをコピーすることで、レコード作成を効率的に行うことができる。	求める書誌レコードが総合目録データベースになく、さらに参照ファイルや総合目録データベースの類似書誌にもヒットしない場合には(ノーヒット)、書誌を新規に作成することはずせず、NIIが作成するのを待つ。		書誌登録の各パターンについての確認問題です。どの様な場面で、どの作業をするかを理解しましょう。

	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
問題 19	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 【(1)】では、新たに書誌レコードを作成する。このとき間違っ【(2)】を行うと既存の書誌を無断で全く【(3)】の内容に書き換えることになるので注意が必要である。	(1)書誌修正 (2)書誌流用入力 (3)同じ	(1)書誌流用入力 (2)書誌新規入力 (3)同じ	(1)書誌流用入力 (2)書誌修正 (3)別の		書誌登録の各パターンと注意すべき点についての確認問題です。間違いをしないためには、基本をしっかりと理解しましょう。
問題 20	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 ALフィールドでは、著者名典拠レコードを検索し、該当するレコードがあれば【(1)】し、同定できるレコードがなかった場合には、新たに著者名典拠レコードを作成するか、もしくは、リンク形成を【(2)】する。 書誌登録は、個々のフィールドへの【(3)】と他のレコードへの【(4)】の操作であるといえる。	(1)新規に作成 (2)NIIIに申請 (3)データ入力 (4)修正	(1)リンク形成 (2)放棄 (3)データ入力 (4)リンク形成	(1)リンク形成 (2)放棄 (3)リンク形成 (4)検索		リンク形成の方法とその種類(必須・任意)、典拠ファイルの作成についての確認問題です。NACSIS-CATの特徴でもあるリンク形成の考え方を正しく理解しましょう。
問題 21	書誌レコードの巻次年月次(VLYR)と所蔵レコードの巻次(HLV)、年次(HLYR)の関係で正しいものを1つ選びなさい。	所蔵レコードの巻次と年次は、書誌レコードに記述されている巻次年月次の範囲内で記入する。	所蔵レコードは表示されている巻、号、Vol.等を、転記の原則により表示されている通りの形で記入する。	書誌レコードに巻次変更があっても、通巻が併記されていれば、通巻号の表示に従って所蔵レコードを記入する。		雑誌の所蔵レコードの基本的な考え方についての確認問題です。書誌レコードの巻次年月次(VLYR)との関係を正しく理解しましょう。
問題 22	所蔵年次(HLYR)の記入方法について正しいものを1つ選びなさい。	合併号で、年次がまたがる場合は、出版年を所蔵レコードのHLYRに記入する。	所蔵レコードのHLYRの年次は、西暦で表示されていれば西暦で、元号で表示されていればそのまま元号で記入する。	所蔵レコードのHLYRで使える文字・記号は、アラビア数字、ハイフン、セミコロンのみである。		所蔵年次(HLYR)の記入方法についての確認問題です。所蔵年次は「最古年次-最新年次」を西暦年4桁の数字で記入します。必ず「4桁の数字、ハイフン、4桁の数字」の形だということを覚えておきましょう。
問題 23	所蔵巻次(HLV)の記入方法について正しいものを1つ選びなさい。	〇年度版という順序付けしか表示がない場合、所蔵レコードは所蔵年次(HLYR)のみ記入し、所蔵巻次(HLV)には記入しない。	数値が漢数字やローマ数字で表示されている場合、所蔵レコードのHLVには、そのまま記入する。	複数の形式の巻次表示がある場合、書誌レコードのVLYRに採用されている方の表示形式と合致する巻次を元に所蔵巻次を記入する。		所蔵巻次(HLV)の記入方法についての確認問題です。所蔵巻次は「巻レベル(号レベル)」をアラビア数字で記入します。
問題 24	書誌レコードの巻次年月次(VLYR)が下記のように記述されている。初号から最終号まですべてを所蔵登録する場合、正しい所蔵レコードの記述はどれか。 昭和59年度(昭59)-昭和63年度(昭63);平成元年度(平1)-平成20年度(平20)	HLYR:1984-1988;1989-2008 HLV:59-63;1-20	HLYR:1984-2008 HLV:59-63;1-20	HLYR:1984-2008 HLV:59-20		巻次変更があった場合の、所蔵年次(HLYR)と所蔵巻次(HLV)の記入方法の問題です。変更の前後を「;」(セミコロン)で区切ること、書誌レコードの巻次・年月次(VLYR)と対応することがポイントです。

	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
問題 25	<p>次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>所蔵登録する際は、最初に【 (1) 】を行い、総合目録データベースに求める書誌レコードがあればそこに所蔵レコードを登録する。所蔵更新する際に、その雑誌がタイトル変遷していれば【 (2) 】所蔵レコードを記入する。雑誌を廃棄した際など、所蔵レコードは【 (3) 】、書誌レコードは【 (4) 】。</p>	<p>(1)書誌検索 (2)変遷後誌に (3)更新し (4)VLYRを修正する</p>	<p>(1)自館OPAC検索 (2)変遷前誌に (3)削除し (4)VLYRを削除する</p>	<p>(1)書誌検索 (2)それぞれのVLYRの範囲に (3)削除し (4)削除してはならない</p>		<p>所蔵レコードの登録、更新、削除の操作手順に関する確認問題です。雑誌の所蔵レコードは一度登録した後も、常に最新の情報に更新する必要があります。</p>